



Yamano Holdings

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月25日

株式会社ヤマノホールディングス
(東証スタンダード 7571)

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想
- V. Appendix

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想
- V. Appendix

中期経営計画 ～Tsunageru2027～

経営基盤のさらなる充実

■ 2027年3月期利益計画

売上高 175～185億円、EBITDA 7～8億円

<重点取り組み>

● 人的資本をより活かす経営

人事機能強化

方針策定

戦略推進

● 既存事業の収益安定化

黒字化

基盤強化

成長準備

● 資本コストや株価を意識した経営

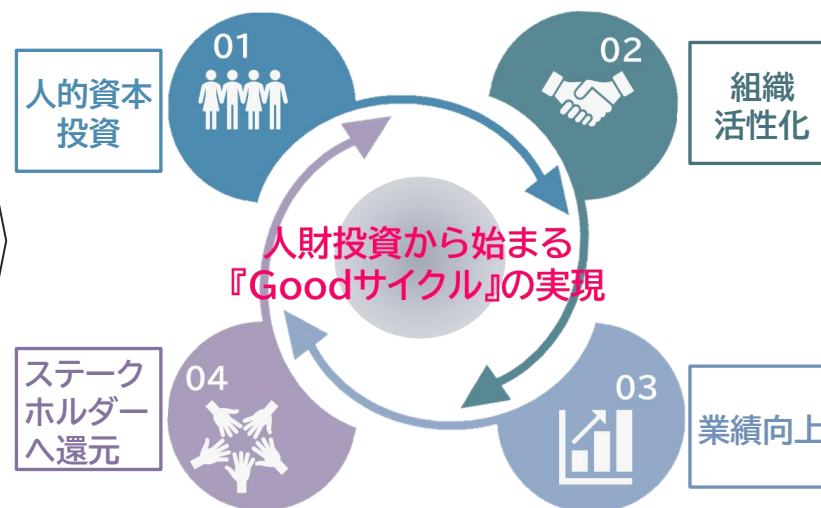
収益改善

資本効率化

IR強化

2030年ビジョン 従業員が投資したくなる会社へ

成長加速



当期目標：最終利益 黒字化の達成

「既存事業の収益安定化」に注力、3つの重点施策に取り組む

営業体制の
最適化

不振事業の
構造改革

伸長事業の
盤石化

収益安定



■「既存事業の収益安定化」策は、改善の余地は残るものの概ね順調

営業体制の最適化 ……1店舗当り平均売上高は、美容事業は前年を維持、その他の4事業はすべて改善
不振事業の構造改革…前期営業赤字のDSM事業、リユース事業は、赤字幅が縮小
伸長事業の盤石化 ……堅調な拡大を続ける教育事業は、利益率の上昇を伴い、事業規模を拡大

業績進捗



■上期業績は、和装宝飾事業の影響を各施策の効果で吸収し、収益改善

売上面 ……前期グループ入りした「灯学舎」が期初より寄与する等、教育事業が伸長し、増収を確保
利益面 ……営業利益/EBITDAは、和装宝飾事業が減益となるも、重点施策が進捗したことで増益
経常利益は、前期の営業外収益の特殊要因がなくなり減益
純利益は、本社、教育事業の税金費用等の増加により減益

▶下期は、主力の和装宝飾事業の納品遅延解消が課題

人的資本



■「人的資本をより活かす経営」に向けた取り組みに着手

- ・各事業、子会社の人事機能強化に向け本社支援体制を整備、人的資本の最大化を推進
- ・従業員持株会制度を改定、経営参画意識の向上・従業員の中長期的な資産形成支援を強化

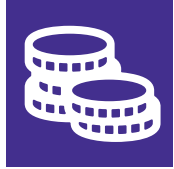
資本/株価



■「資本コストや株価を意識した経営」への対応

- ・株式市場での認知度向上、投資家との継続的な対話に向けた取組みを推進
- ・「マテリアリティの特定・対応策の決定」に向け全社プロジェクトをスタート

株主還元



■株主還元に向けた対応

- ・期初計画通り、最終利益の黒字化により、**復配を目指す** 2025年3月期 配当金予想 1.0円

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想
- V. Appendix

連結業績サマリー



Yamano Holdings

(単位:百万円)

	2024/2Q累計 実績	2025/2Q累計 実績	増減	増減比
売上高	6,811	6,845	+33	+0.5%
売上総利益	3,448	3,415	△33	△1.0%
(売上総利益率)	(50.6%)	(49.9%)	(△0.7p)	—
販管費	3,456	3,420	△36	△1.1%
(販管费率)	(50.7%)	(50.0%)	(△0.7p)	—
EBITDA	48	49	+1	—
(EBITDAマージン)	(0.7%)	(0.7%)	(+0.0p)	—
営業利益	△8	△5	+3	—
(営業利益率)	(△0.1%)	(△0.1%)	(+0.0p)	—
経常利益	4	△13	△18	—
当期純利益	△9	△63	△54	—

主な増減要因

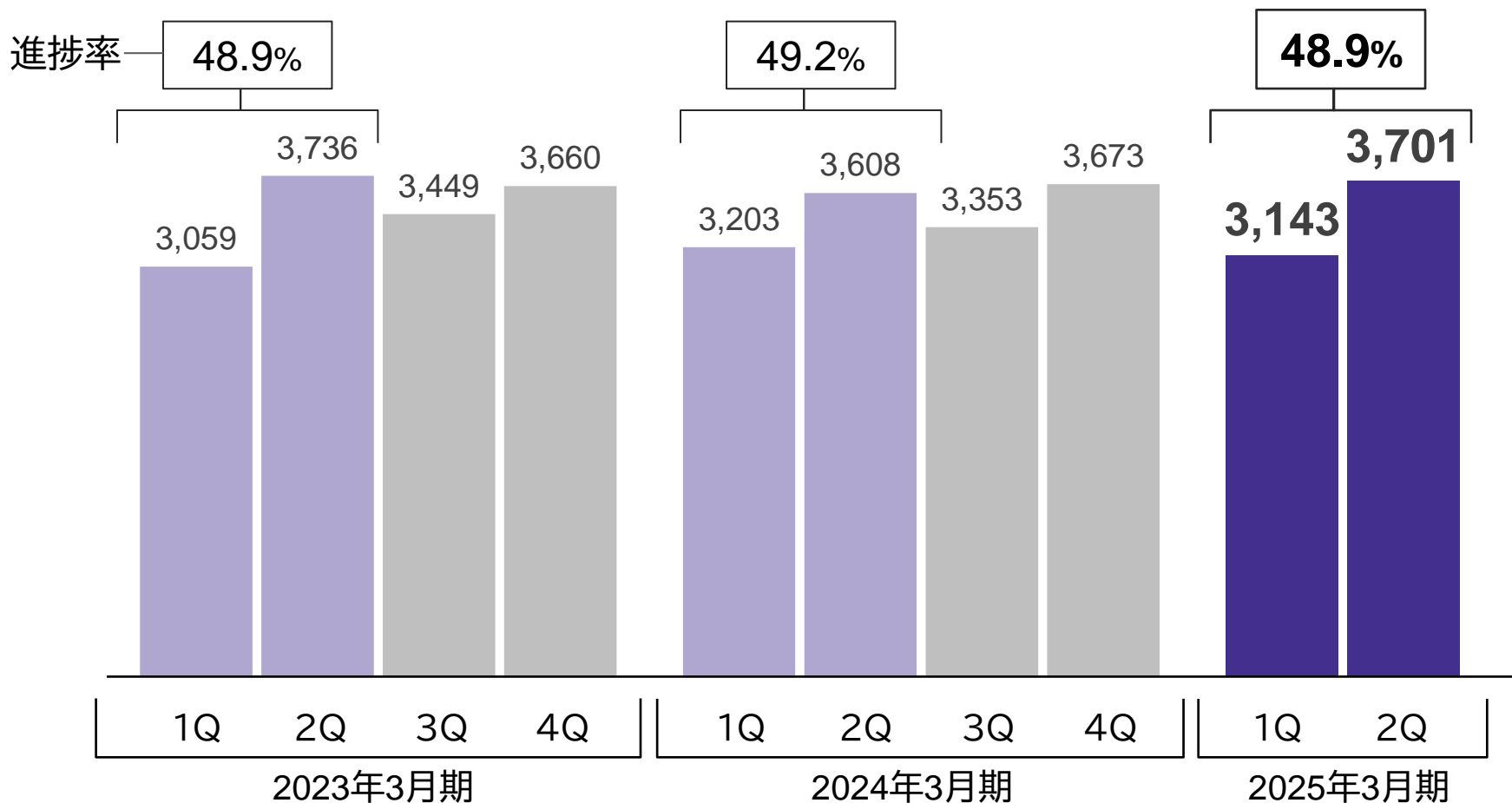
- 和装宝飾事業の減収等を教育事業でカバーし増収
- 和装宝飾事業が減益となるも、教育事業に加え、前期苦戦した3事業が改善し増益
- 前期の営業外収益の特殊要因がなくなり減益
- 当社及び教育事業2社の税金費用の増加等により減益

※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

四半期別売上高推移

- 2Qは、大型催事の開催や季節要因から、例年通りに上昇して着地
- 上期の進捗率は例年水準を維持
- 下期は、和装宝飾事業の納品遅延の解消に注力

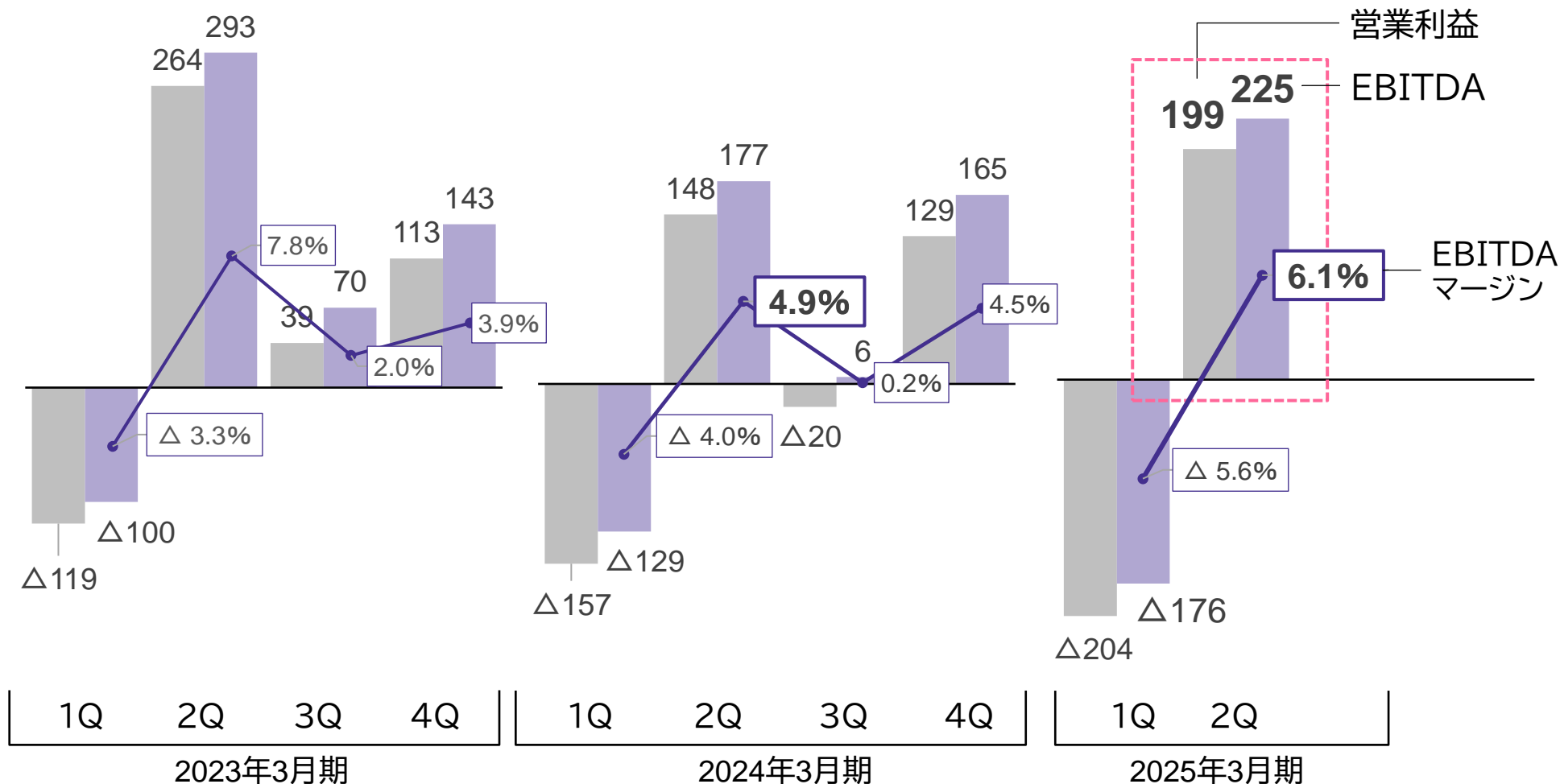
四半期別売上高 (単位:百万円)



四半期別 営業利益／EBITDA推移

- 2Qは、売上高増加に伴い、営業利益、EBITDAとも黒字に転換
- EBITDAマージンも前年同期比で上昇(4.9%→6.1%)

四半期別 営業利益／EBITDA推移 (単位:百万円)



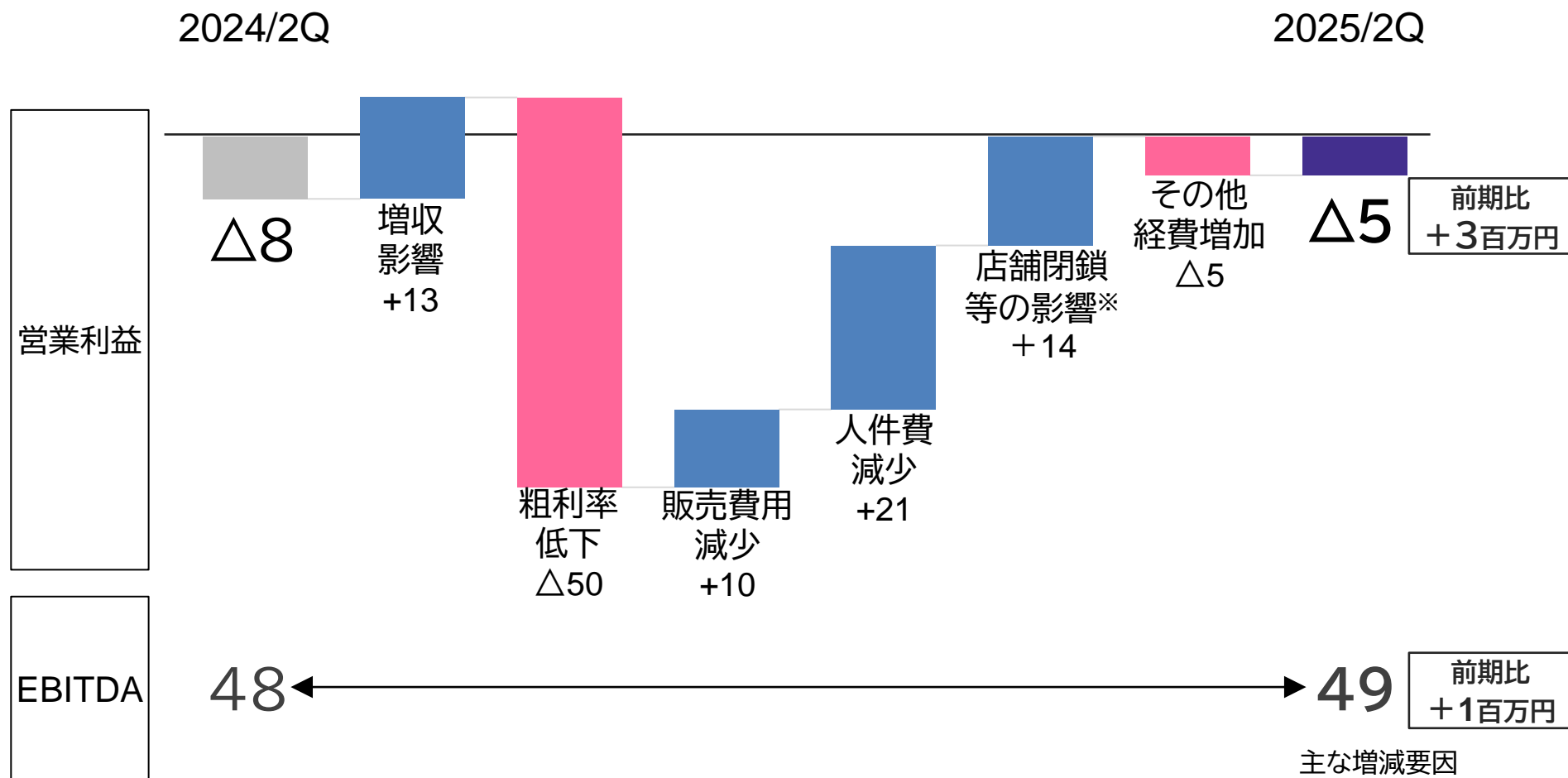
要素別 営業利益／EBITDA 増減要因



Yamano Holdings

- 売上構成比の高い和装宝飾事業の粗利率低下により売上総利益が減少
- 増収影響に加え、各重点施策の効果で固定費等が減少し、前年比プラス

(単位:百万円)



主な増減要因
 ・減価償却費の減少
 ・のれん償却費の増加

※店舗閉鎖等による人件費減少分は除く

セグメント別売上高・営業利益



Yamano Holdings

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	2024/2Q 累計	2025/2Q 累計	前年比		2024/2Q 累計	2025/2Q 累計	前年比	
			増減	%			増減	%
美容	971	916	△55	△5.7	1 ※(0.2%)	12 (1.3%)	+10 (+1.1p)	+541.4
和装宝飾	4,743	4,646	△97	△2.1	47 (1.0)	△29 (△0.6)	△77 (△1.6p)	—
DSM	439	404	△34	△7.8	△21 (△4.8)	△19 (△4.7)	+2 (+0.1p)	—
教育	493	714	+221	+44.8	23 (4.7)	45 (6.3)	+22 (+1.6p)	+90.8
その他	167	166	△1	△0.4	△39 (△23.4)	△8 (△4.9)	+31 (+18.5p)	—
調整額	—	—	—	—	△19	△4	+15	—
合計	6,811	6,845	+34	+0.5	△8	△5	+3	—

※営業利益欄の()は、各セグメントの利益率を表す

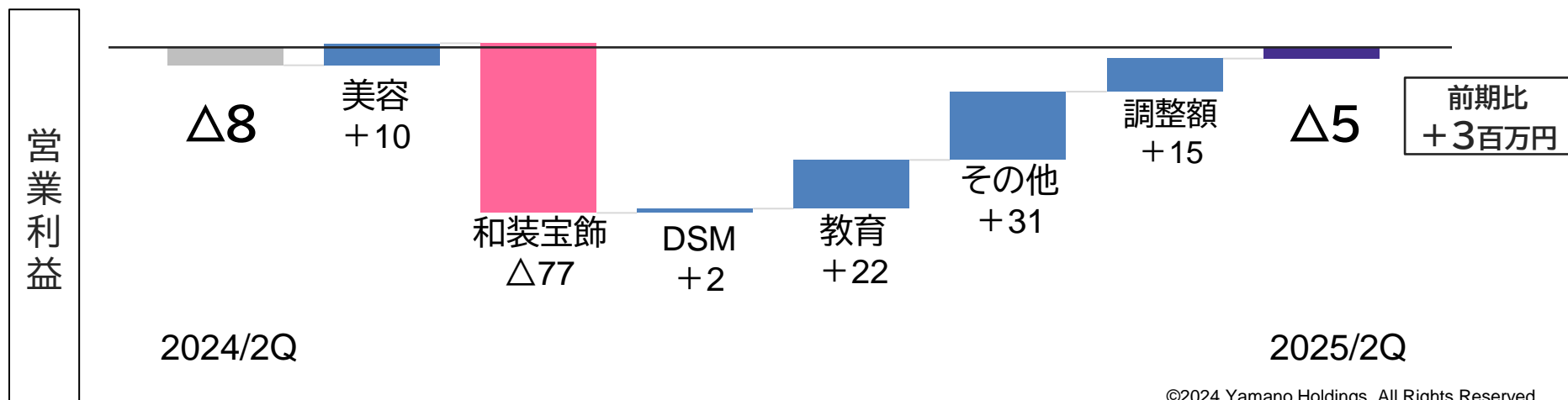
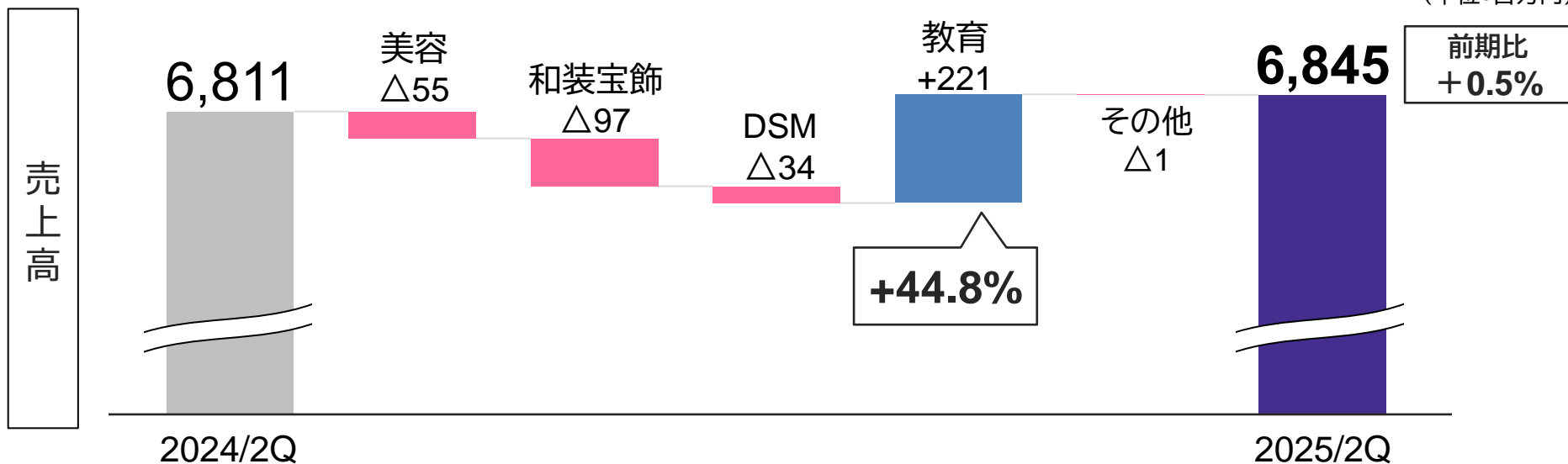
セグメント別 売上高／営業利益 増減



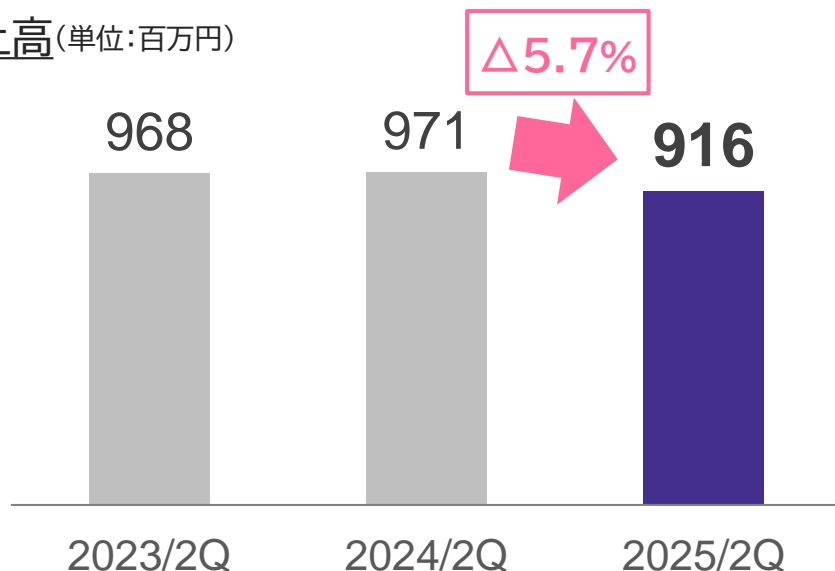
Yamano Holdings

- 売上高 教育事業が伸長し、その他の4事業の減収分をカバーし、増収を確保
- 営業利益 和装宝飾事業の減益分を各事業の増益により吸収し、前年を上回る

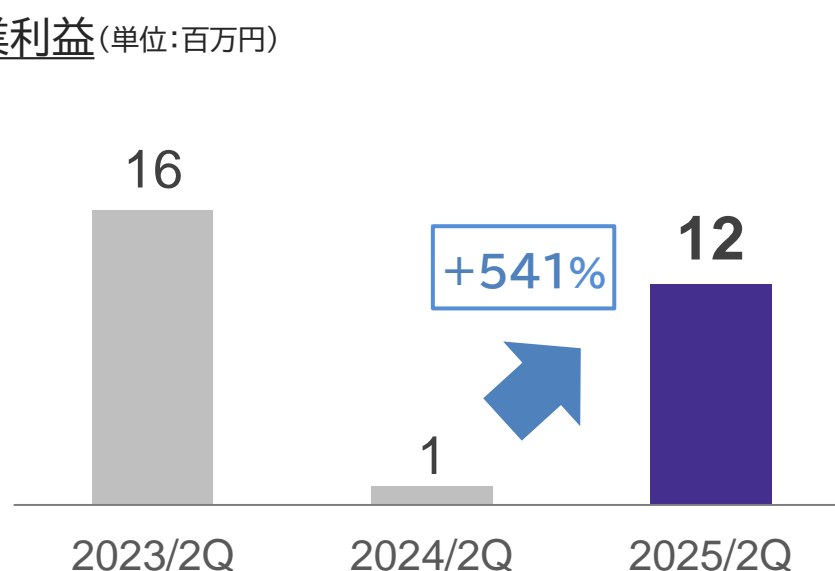
(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



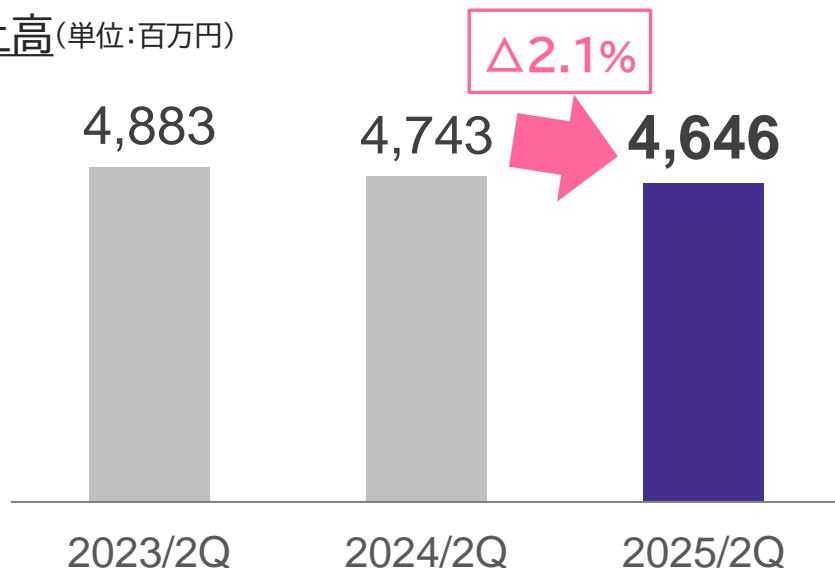
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	維持 →	99.9%
1店舗当り 平均営利率	上昇 ↑	+1.1pt
損益分岐点	改善 ↑	△8.4%

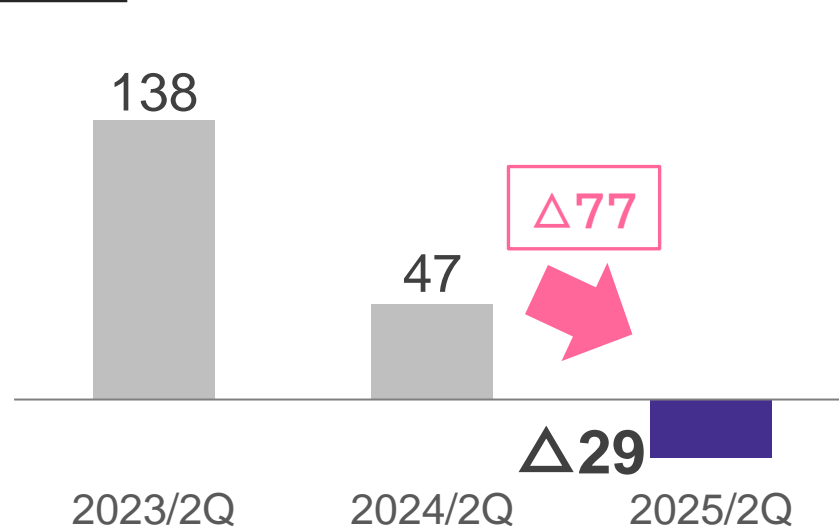
■主な取り組み

- 事業環境の変化に対し、店舗業態転換やFC化等を推進、1店舗当り平均売上高は維持
- 不採算店舗の閉鎖を実行、営業資源の最適化が進み、収益性向上に繋がる
- 育成強化による店舗稼働率の上昇、店舗閉鎖による固定費削減効果等により、収益力向上

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



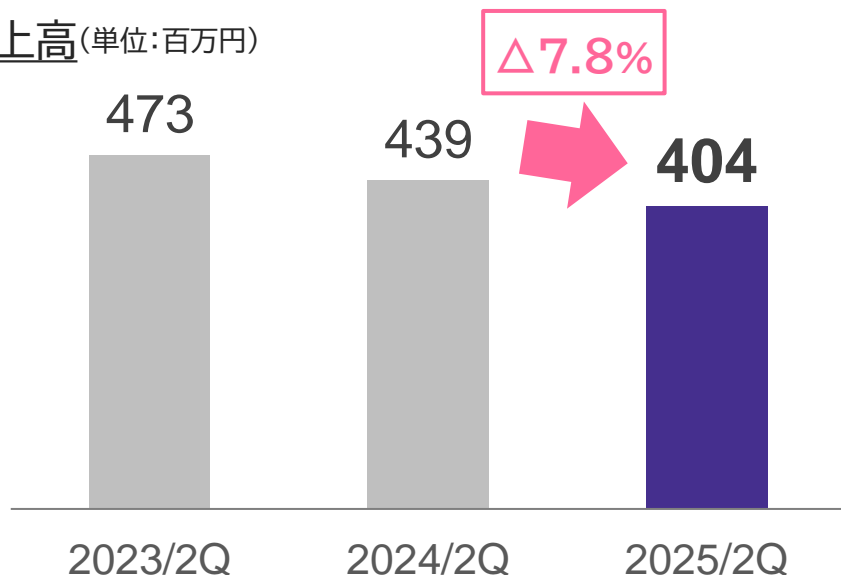
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	上昇 ↑	101.4%
1店舗当り 平均営利率	悪化 ↓	Δ1.9pt
損益分岐点	悪化 ↓	+1.6%

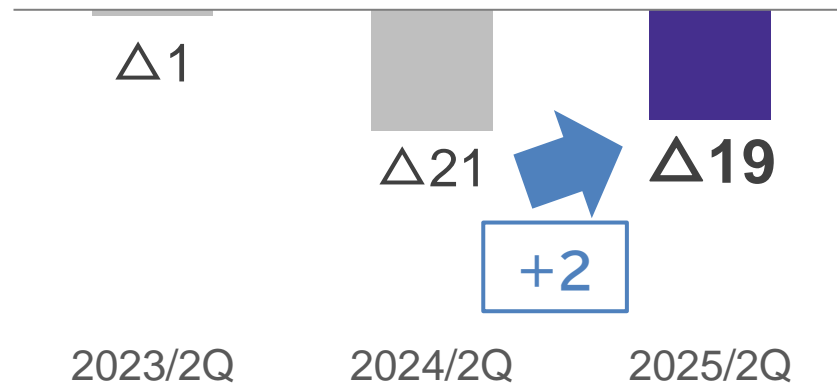
■主な取り組み

- 大型展示販売会等が好調に推移し受注量は改善。一方、納品の一部遅れ等の影響で売上高は減少。
- 減収影響による粗利額の減少に加え、店頭企画の強化による商品MIXの変化で粗利率が低下
- 粗利率の低下、店舗閉鎖による現状回復費の増加等で固定費が増加し、損益分岐点は悪化

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



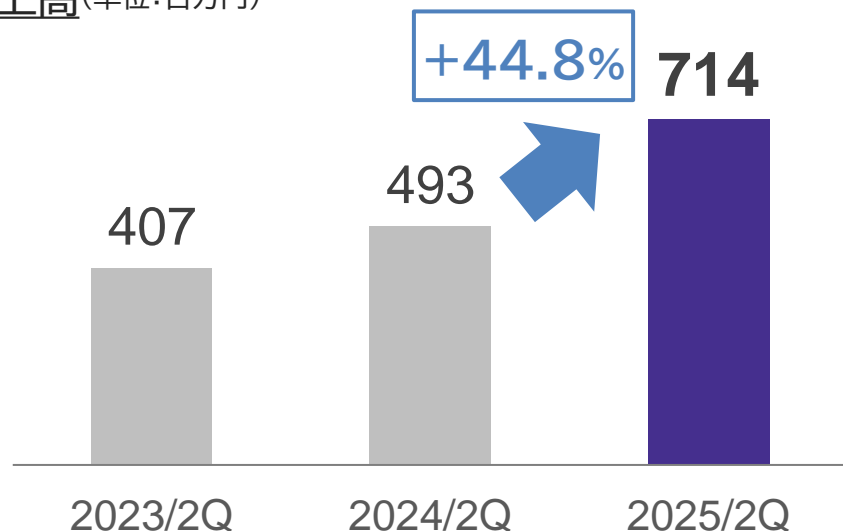
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1拠点当り平均売上高	上昇 ↑	106.8%
1店舗当り平均営利率	維持 →	Δ0.1pt
損益分岐点	改善 ↑	Δ8.0%

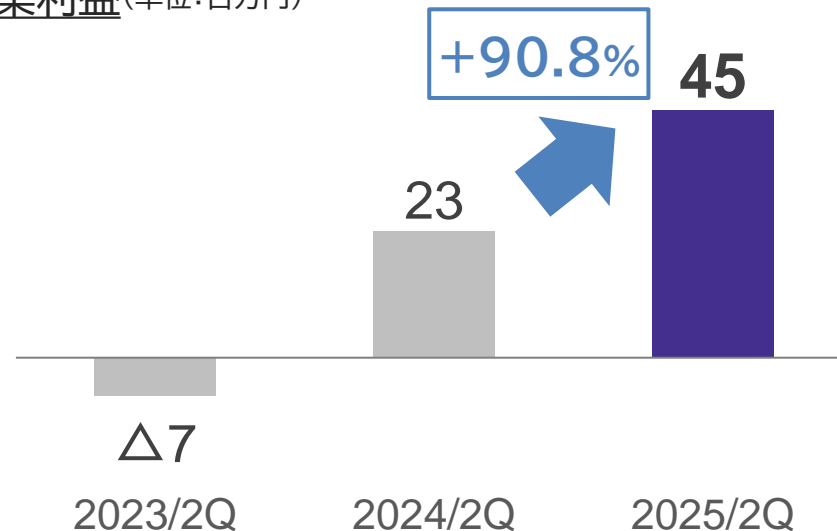
■主な取り組み

- 新規紹介キャンペーン、休眠顧客の活性化、合同催事の強化等で1拠点当り平均売上高は改善
- 販売員稼働率の低下による影響はあった一方で、拠点の統廃合による固定費の減少、販売費用の抑制等で赤字幅は縮小

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



■上期の進捗状況 ※既存2社対象

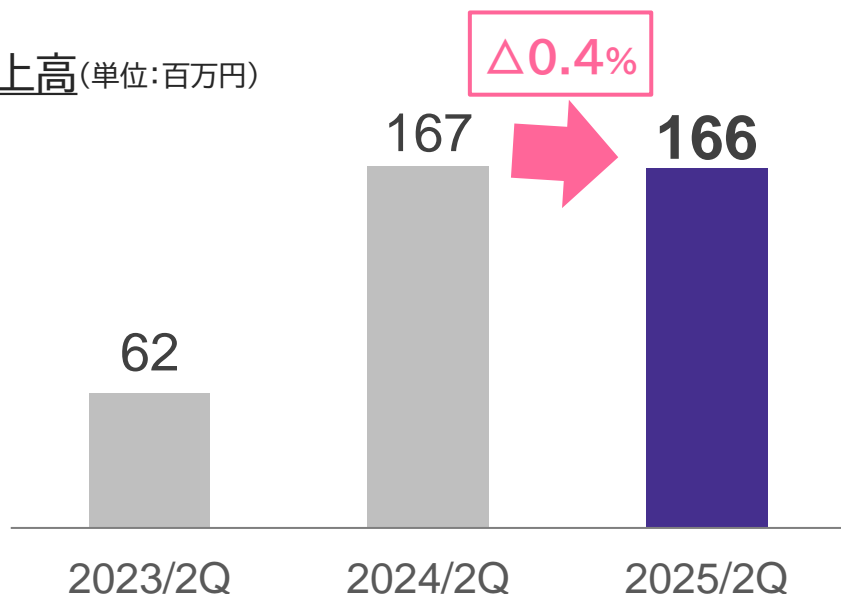
主要KPI	評価	前年比
1教室当り 平均売上高	上昇 ↑	107.9%
1教室当り 平均営利率	上昇 ↑	+4.1pt
損益分岐点	改善 ↑	Δ0.9%

■主な取り組み

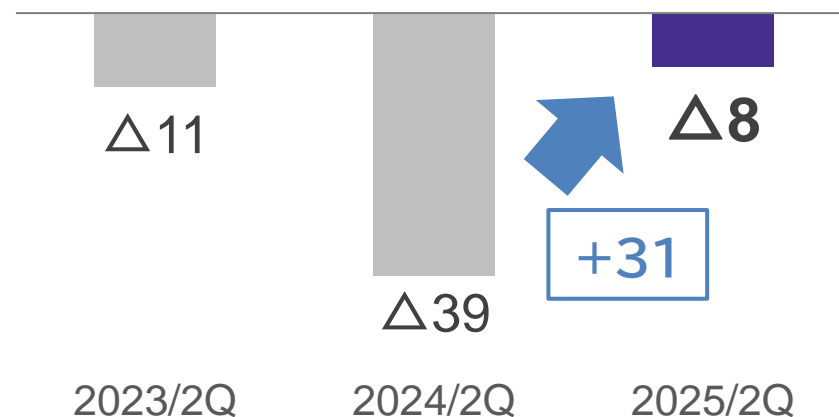
- 前期グループ入りした「灯学舎」が期初より売上に寄与。PMIも順調に進捗。
- 若手従業員の積極採用、継続的な現場力の改善活動等により、1教室当り平均売上高は上昇
- 上期ポイントの夏期講習の売上は堅調に推移し、利益率も上昇

その他の事業(リユース事業)

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り平均売上高	上昇 ↑	101.9%
店舗販売構成比	上昇 ↑	89%(+16pt)
損益分岐点	改善 ↑	△27.9%

■主な取り組み

- 仕入先の安定化により、商材不足が解消。販売価格の上昇、仕入原価の低下に繋がり収益性改善
- 販売オペレーションの改善を進め、高粗利商品が多い店舗販売を強化
- 粗利率の改善に加え、倉庫・店舗作業の内製化が進み固定費が減少、損益分岐点が大幅に改善

連結貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024/3末	構成比	2024/9末	構成比	増減
資産合計	8,647	100.0%	7,903	100.0%	△743
流動資産	6,865	79.4	6,135	77.6	△729
固定資産	1,781	20.6	1,767	22.4	△14
有形固定資産	317	3.7	319	4.0	+1
無形固定資産	363	4.2	353	4.5	△10
投資その他	1,100	12.7	1,095	13.9	△4
負債・純資産合計	8,647	100.0%	7,903	100.0%	△743
負債合計	7,423	85.9	6,751	85.4	△672
流動負債	5,560	64.3	5,043	63.8	△516
短期借入金※	1,753	23.8	1,547	23.3	△220
固定負債	1,863	21.5	1,707	21.6	△155
長期借入金	1,462	16.9	1,300	16.5	△161
純資産合計	1,223	14.1	1,152	14.6	△71

※1年以内返済予定長期借入金含む

主な変動要因

流動資産

- 借入金返済等による現預金の減少(△347)
- 売掛金の減少(△441)

固定資産

- 構造改革実行に伴う店舗閉鎖等による敷金・保証金の減少(△39)

流動負債

- 前期末の休日影響による支払手形・買掛金の減少(△102)、電子記録債務の減少(△90)
- 短期借入金の返済による減少(△206)
- 店舗閉鎖の影響による前受金の減少(△89)

固定負債

- 長期借入金の返済等によるの減少(△162)

純資産

- 当中間期純利益(△63)
- その他有価証券評価差額金の減少(△7)

自己資本比率 14.6%(+0.5pt)

- 営業キャッシュフローは、休日影響等で減少(実質的には前2Qより大幅改善)
- 財務キャッシュフローは、有利子負債の圧縮により減少

	2023/2Q	2024/2Q	前期 増減	主な増減要因
営業キャッシュフロー	199	129	△69	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 休日影響により仕入債務減少△502 ▶ 不採算店舗閉鎖等により売上債権減少+411
投資キャッシュフロー	△48	△98	△50	
フリーキャッシュフロー	151	31	△120	
財務キャッシュフロー	54	△378	△432	▶ 当期上期 有利子負債減少△368
現金及び現金同等物の増減額	205	△347	△552	
現金及び現金同等物の期首残高	2,830	2,243	△587	
現金及び現金同等物の期末残高	3,036	1,896	△1,140	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前期下期 有利子負債減少△850 ▶ 当期上期 // △368

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想
- V. Appendix

- 各事業、各子会社の人事機能強化に向け、本社支援体制を整備
人事面のグループ連携強化により人的資本の最大化を推進

7/1 社長直轄の人事戦略室を新設

- 多様な業種で人事課題の解決に豊富な経験を持つ人事専門家を招聘し、
執行役員CHROとして活動開始

人事戦略室の設置目的

- 人事面で経営に参画し、グループ経営の全社戦略を推進
- 人的資本投資を起点とした『Goodサイクル』の実現に向け、課題解決を図る

2025年3月期

人事基本機能の
改善・強化

2026年3月期

グループ人事
方針を決定

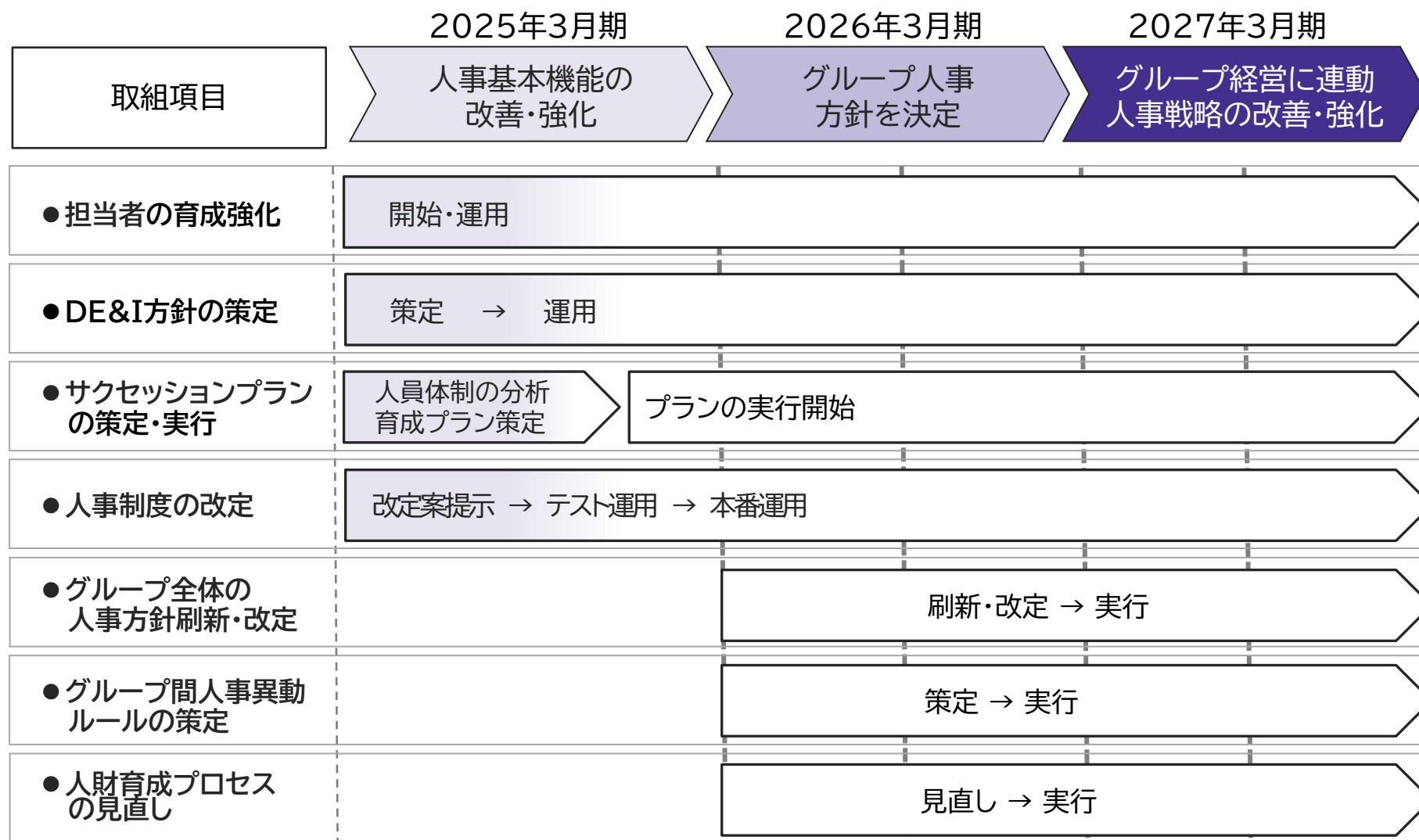
2027年3月期

グループ経営に連動
人事戦略の改善・強化

取り組みスケジュール



Yamano Holdings



取り組み項目

課題／対策

①人事機能の強化

- ・子会社・本体各事業部の人事担当者の育成
- ・よりハイレベルな人事知識の共有

慢性的な人財不足、採用力の向上等

- ▶ 人事スペシャリストの増員、担当者スキルの向上

②DE&I方針策定

- ・多様な価値観を尊重、職場環境の改善
- ・多様な人財が創造性を発揮できる環境の整備

創造性、革新性の低下、公平な職場環境

- ▶ 多様性、包括性を重視し、公平な職場環境の実現

③サクセッションプランの策定・実行

- ・各部署の人員体制の分析
- ・3年後を見据えた人員体制の考案
- ・育成プランの策定、実行

役職者の高齢化、知識・スキル伝承の遅れ

- ▶ 幹部候補人財や各部署の後継者人財の早期育成

④人事制度の改定

- ・等級制度・評価制度の改定

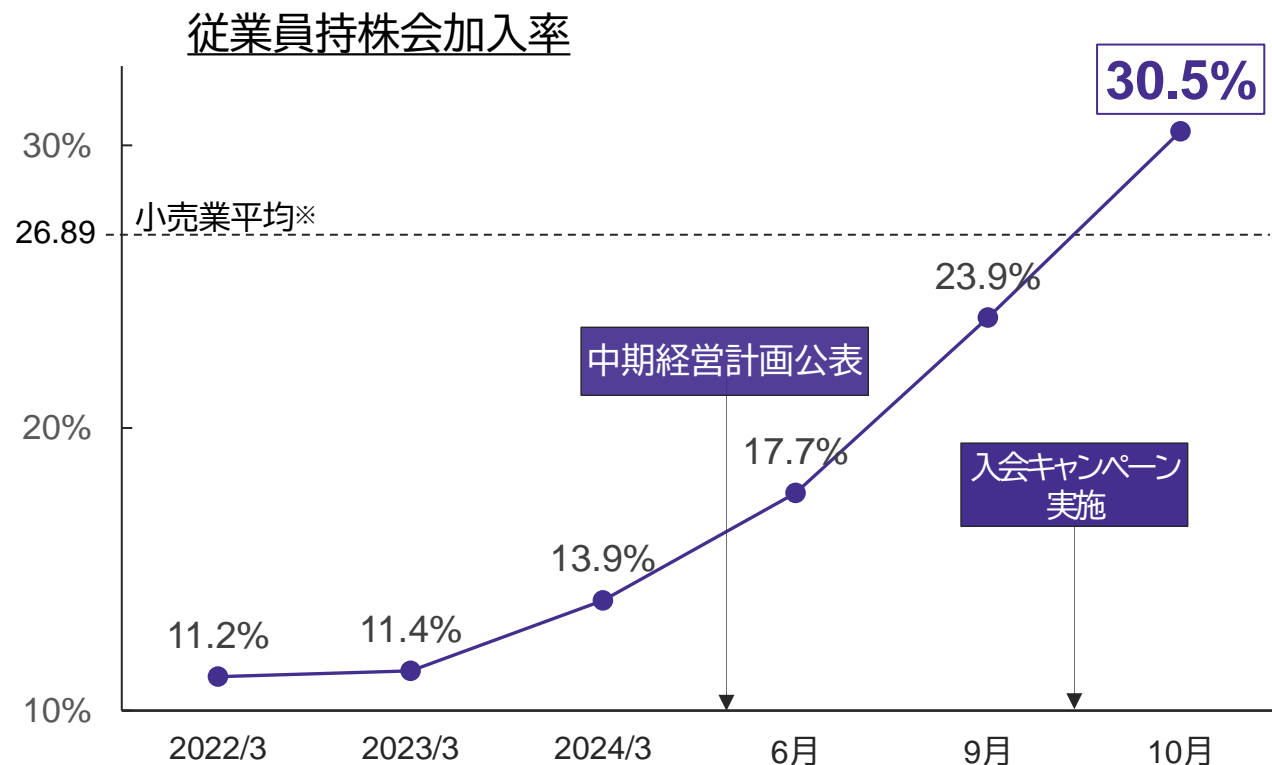
各等級に求める役割・評価基準が不明確

- ▶ 役割・責任範囲の明確化した人事評価の構築

従業員持株会への加入促進策を実施

- 2030年ビジョンの実現に向け、2024年10月より従業員持株会制度を改定
- 経営参画意識の向上、従業員の中長期的な資産形成支援を強化

改定内容：継続して拠出した会員は毎年2月の定率奨励金を平均拠出額の100%相当額とする。
通常月の5%と合わせ、年間拠出額の約13%の奨励金を支給



- 中期経営計画公表後、徐々に増加
- 持株会制度改定直後、30%まで上昇
- 小売業平均を上回る

※出典：東京証券取引所 2022年度従業員持株会状況調査結果の概要について

「資本コストや株価を意識した経営」への対応

■ 株式市場での認知度向上、投資家との継続的な対話に向けた取組みを推進

- ・中期経営計画の公表のタイミングで、コーポレートサイトを全面リニューアル
- ・リリース件数の拡大、外部レポートの活用やメディア等を活用した決算情報の配信を強化
- ・機関投資家やアナリストの意見、要望を社内にフィードバックし、事業戦略や方針見直しに活かす



- ・成長戦略に対する理解度の向上、投資家との対話機会の拡大が課題
- ・SNSや発信ツール等を積極的に活用し、情報発信力を高めていく

■ 「マテリアリティの特定・対応策の決定」に向け全社プロジェクトを実行

【上期】社会課題・経営課題の抽出

- ・社会課題、部門別の事業課題を抽出
- ・事業の重大なリスク、事業機会を認識
- ・グループ共通課題の洗い出し・検討

【下期】優先付け／検証／KPIの開示

- ・社会課題等を踏まえた課題の優先付け
- ・対応策の検討、実行可能性の検証
- ・重要性、時間軸で評価、活動計画の決定



- ・グループ共通課題の解決を通じ、部門間連携・情報共有の重要性への認識が強まる
- ・持続的な成長への取り組み及び投資家との対話の深化、信頼関係の構築を図る

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想**
- V. Appendix

■ 2024年5月15日に公表した通期業績予想から変更はございません。

<下期の重要ポイント>

- 和装宝飾事業の商品引渡し活動の強化による納品遅延の解消
- 「既存事業の収益安定化」策の継続的な実行による更なる収益性の向上

営業体制の最適化 ……上期に強化した店舗運営力を発揮し、下期後半の最需要期を捉える
不振事業の構造改革……事業構造改革を加速させ、収益化に向けて着実に進展させる
伸長事業の盤石化 ……教育事業の基盤強化に向け、若手教室長の育成と若手社員の積極的な採用を継続

(単位:百万円)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減額	増減比(%)
売上高	13,837	14,000	+163	+1.2
EBITDA※	220	370	+150	+68.1
(EBITDAマージン)	(1.6%)	(2.6%)	(+1.0P)	—
営業利益	100	260	+160	+157.8
経常利益	102	230	+128	+125.2
当期純利益	△28	120	+148	—
EPS(円)	△0.83円	3.44円	+4.27	—

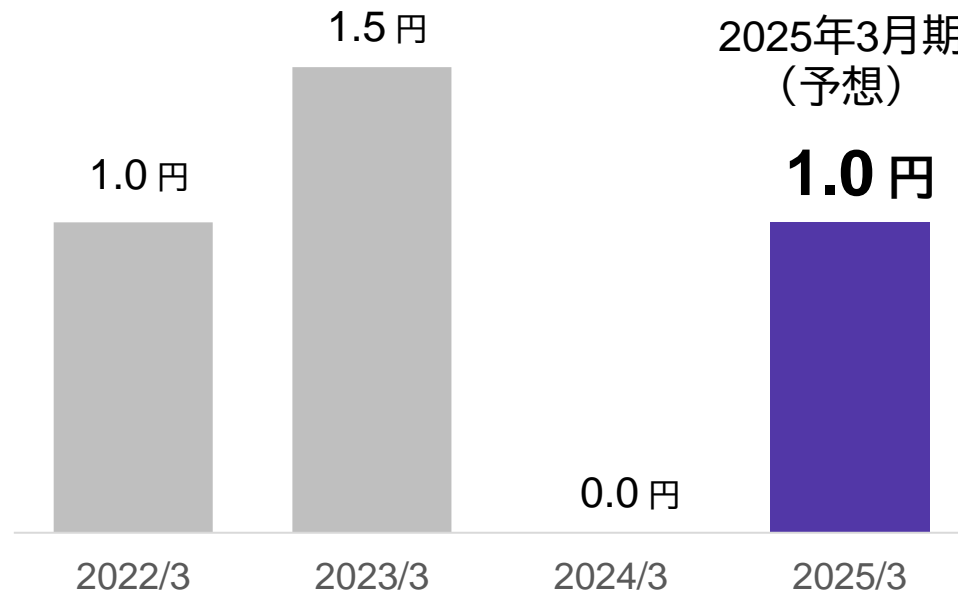
※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

■ 利益配分方針

- 安定的かつ継続した株式配当を基本とし、株式価値の向上に資する「人的投資」と「事業成長投資」並びに「自己資本の蓄積」など、バランスを重視した利益配分を計画

※配当性向については、利益配分方針に沿い、各年度の業績に連動して適切に検討

1株当たり年間配当金



最終利益 黒字化による
復配を目指す

配当性向 (%)	34.3	30.1	—	29.1
----------	------	------	---	------

目次

- I. 2025年3月期 上期総括
- II. 2025年3月期 第2四半期決算 業績概要
- III. 中期経営計画の進捗状況
- IV. 通期業績予想
- V. Appendix

会社名	株式会社ヤマノホールディングス	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美容室、ネイルサロンの運営 ・和装品、宝飾品、毛皮、洋装品、寝装品、健康関連商品の販売 ・学習塾の運営 ・古着の買取/販売 										
設立	1987年2月2日	本社所在地	東京都渋谷区代々木1-30-7 ヤマノ24ビル										
資本金	10,000,000円	主要株主	<table border="0"> <tr> <td>株式会社ヤマノネットワーク</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>山野義友</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>山野愛子どろんこ美容株式会社</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>山野美容商事株式会社</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>山野功子</td> <td>4.1%</td> </tr> </table> <p>※2024年9月末日現在</p>	株式会社ヤマノネットワーク	13.7%	山野義友	10.9%	山野愛子どろんこ美容株式会社	9.7%	山野美容商事株式会社	4.2%	山野功子	4.1%
株式会社ヤマノネットワーク	13.7%												
山野義友	10.9%												
山野愛子どろんこ美容株式会社	9.7%												
山野美容商事株式会社	4.2%												
山野功子	4.1%												
株式上場	1997年11月 日本証券業協会 (現 東京証券取引所JPXスタンダード) 証券コード：7571	発行済株式数	35,830,058株(自己株式を含む) ※2024年3月末日現在										
業種	小売業	株主数	5,437名 (2024年3月末日現在)										
決算月	3月	主要グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ヤマノプラス 株式会社すずのき 株式会社マンツーマンアカデミー 東京ガイダンス株式会社 株式会社灯学舎 株式会社OLD FLIP 株式会社ヤマノセイビング 										
代表者名	代表取締役社長CEO 山野 義友												
従業員数	単体224名、連結575名 (2024年3月31日現在、女性比率 約70%)												

美道五原則

(髪、顔、装い、精神美、健康美)

企業理念

こころが明るく美しくなければ、外観の美しさは作られない。

心身の健康が外観の美を形作り、外観が美しくなることによって、また、心身ともに穏やかな状態が作られていく。

創業者山野愛子が生涯をかけて提唱し続けた美道五原則とは、

「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」という五つの要素が内面と外見の両方で調和し合い、相互に影響し合って、真の人間の本当の美しさが生まれると定義した人類学における理念です。

Mission(私たちの使命)

豊かさや彩りあるライフスタイルを創造し続けます

Vision(2030年に向けてのビジョン)

従業員が投資したくなる会社へ

Value(私たちの価値観と行動規範)

我らに奉仕の心あり

私たちは、謙虚に学ぶ姿勢を忘れずに、感謝する心を大切にします。

我らに団結の力あり

私たちは、自己成長に励み、互いに個性を尊重し、信頼し合い、結束する力を持ちます。

我らに実践の斗志あり

私たちは、最善の成果が得られるよう、誇りと情熱をもって、やり抜く強い意志を持ちます。

我らに必勝の信念あり

私たちは、いかなる状況においても、自分の能力・努力を信じ、必ず成功すると確信します。

我らに目標達成の行動あり

私たちは、コンプライアンスを遵守し、「行動なくして成果なし」の精神で、迅速かつ柔軟に考動します。

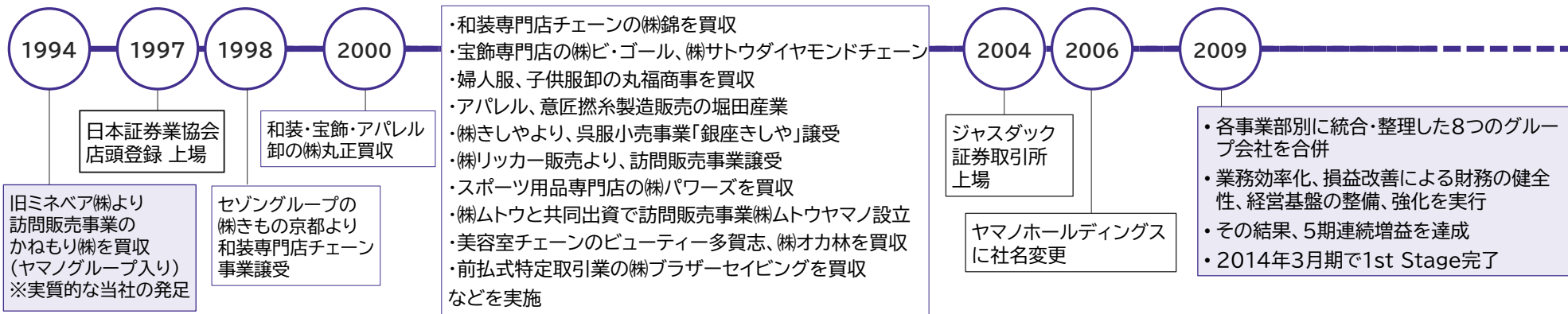
創業

M&Aで事業領域の拡大に乗り出す

第2創業1st Stage

<2001~2007年に買収、事業譲受した主な会社、事業>

<持株会社制から事業本部制に移行>



第2創業2st Stage

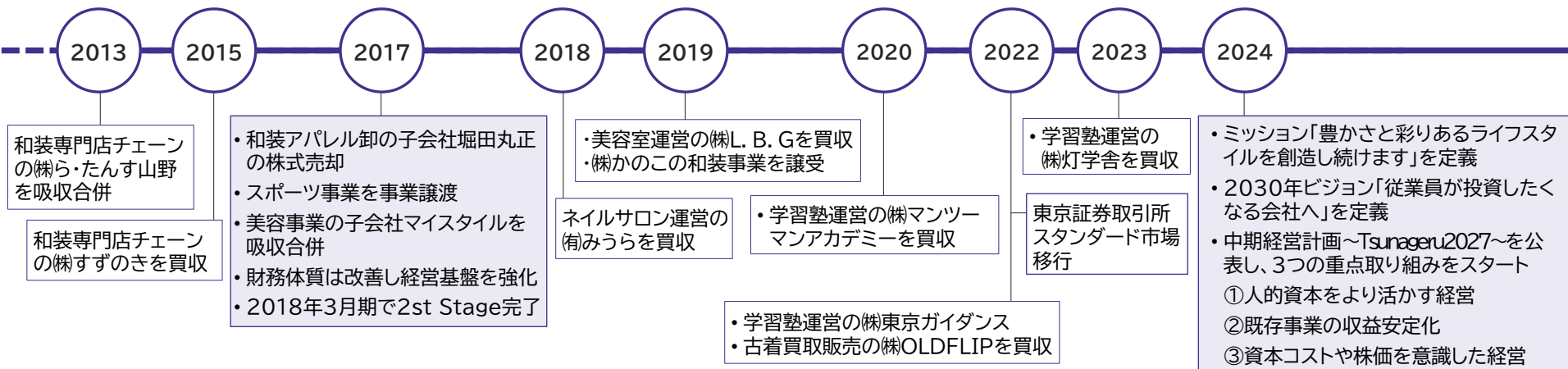
第2創業3rd Stage

中期経営計画 2027

<本格的な事業再編を実行>

<既存事業のM&Aを継続、M&Aで事業領域の拡大>

<経営基盤のさらなる充実を目指す>

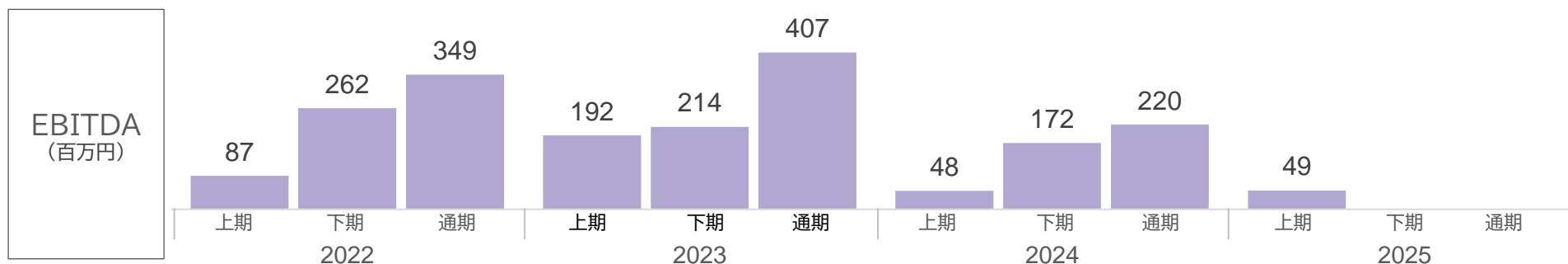
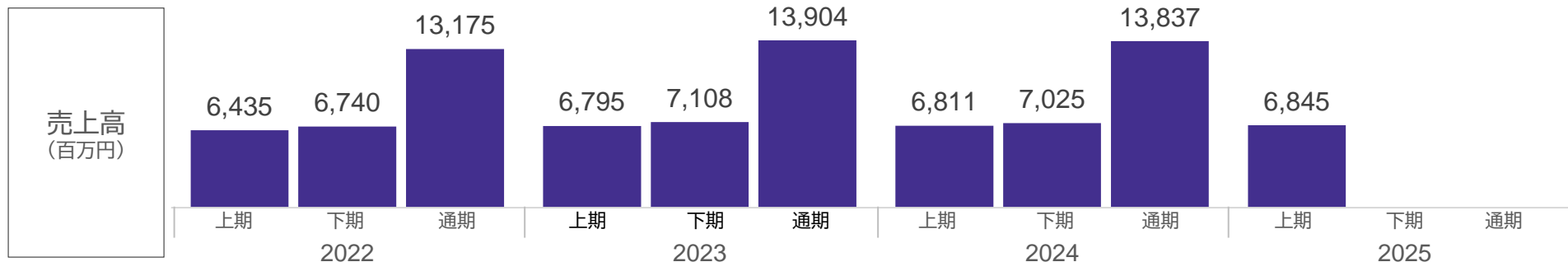


連結業績推移



Yamano Holdings

(百万円)	2022年3月期			2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	6,435	6,740	13,175	6,795	7,108	13,904	6,811	7,025	13,837	6,845		
EBITDA	87	262	349	192	214	407	48	172	220	49		
営業利益	54	226	281	144	153	297	△8	109	100	△5		
経常利益	44	220	265	140	146	286	4	97	102	△13		
当期純利益	△29	131	101	54	119	173	△9	△19	△28	△63		
EBITDAマージン	1.4%	3.9%	2.7%	2.8%	3.0%	2.9%	0.7%	2.5%	1.6%	0.7%		
営業利益率	0.8%	3.4%	2.1%	2.1%	2.2%	2.1%	△0.1%	1.6%	0.7%	△0.1%		
経常利益率	0.7%	3.3%	2.0%	2.1%	2.1%	2.1%	0.1%	1.4%	0.7%	△0.2%		
当期純利益率	△0.5%	1.9%	0.8%	0.8%	1.7%	1.2%	△0.1%	△0.3%	△0.2%	△0.9%		

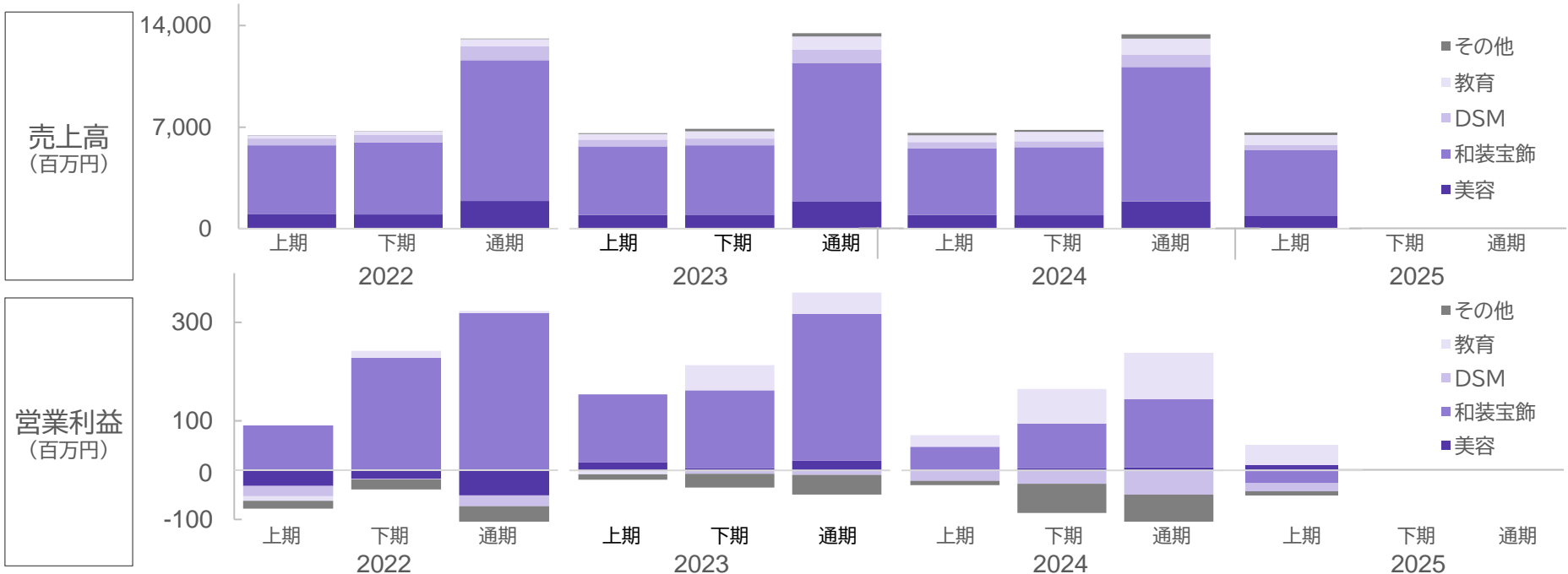


セグメント別業績推移



Yamano Holdings

	2022年3月期			2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高												
美容	1,011	980	1,991	968	991	1,960	971	960	1,931	916		
和装宝飾	4,731	4,974	9,706	4,883	4,937	9,821	4,743	4,836	9,579	4,646		
DSM	464	504	968	473	472	946	439	429	868	404		
教育	222	252	474	407	534	941	493	656	1,150	714		
その他	5	28	34	62	171	234	164	142	307	163		
営業利益												
美容	△32	△18	△51	16	4	20	1	4	6	12		
和装宝飾	91	228	319	138	158	297	47	91	138	△29		
DSM	△21	△1	△22	△1	△7	△9	△21	△27	△49	△19		
教育	△9	14	4	△7	51	43	23	70	94	45		
その他	△16	△20	△37	△11	△28	△40	△39	△29	△69	△8		

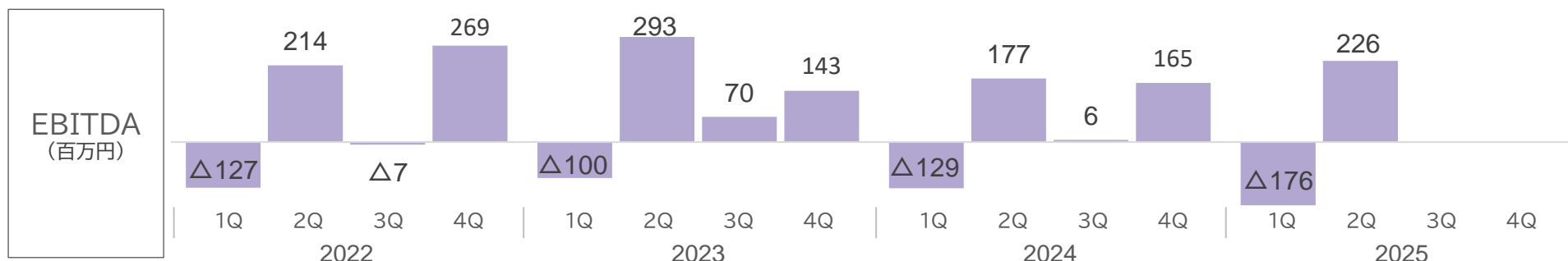
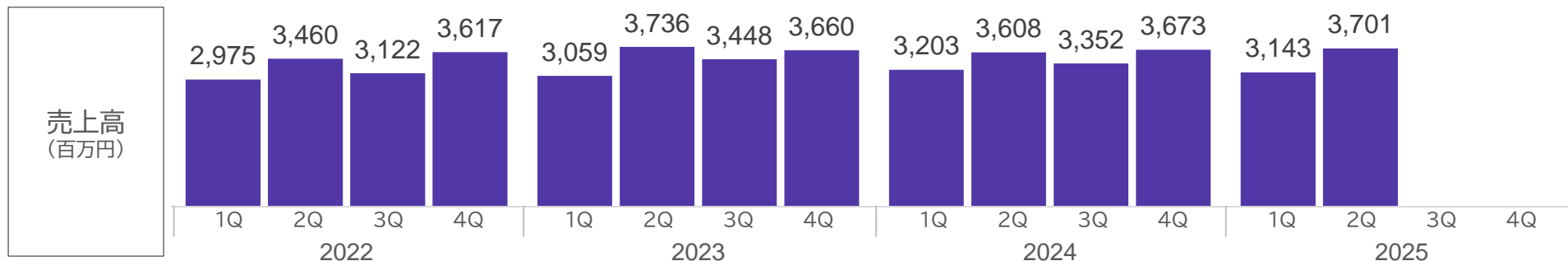


四半期業績推移



Yamano Holdings

(百万円)	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,975	3,460	3,122	3,617	3,059	3,736	3,448	3,660	3,203	3,608	3,352	3,673	3,143	3,701		
EBITDA	△127	214	△7	269	△100	293	70	143	△129	177	6	165	△176	226		
営業利益	△143	197	△25	252	△119	264	39	113	△157	148	△20	129	△204	199		
経常利益	△148	193	△27	248	△124	264	36	109	△158	163	△24	121	△209	196		
当期純利益	△179	150	△51	182	△162	217	1	117	△124	115	△23	4	△171	107		
EBITDAマージン	△4.3%	6.2%	△0.2%	7.5%	△3.3%	7.9%	2.0%	3.9%	△4.0%	4.9%	0.2%	4.5%	△5.6%	6.1%		
営業利益率	△4.8%	5.7%	△0.8%	7.0%	△3.9%	7.1%	1.1%	3.1%	△4.9%	4.1%	△0.6%	3.5%	△6.5%	5.4%		
経常利益率	△5.0%	5.6%	△0.9%	6.9%	△4.1%	7.1%	1.1%	3.0%	△5.0%	4.5%	△0.7%	3.3%	△6.7%	5.3%		
当期純利益率	△6.0%	4.3%	△1.6%	5.0%	△5.3%	5.8%	0.1%	3.2%	△3.9%	3.2%	△0.7%	0.1%	△5.4%	2.9%		



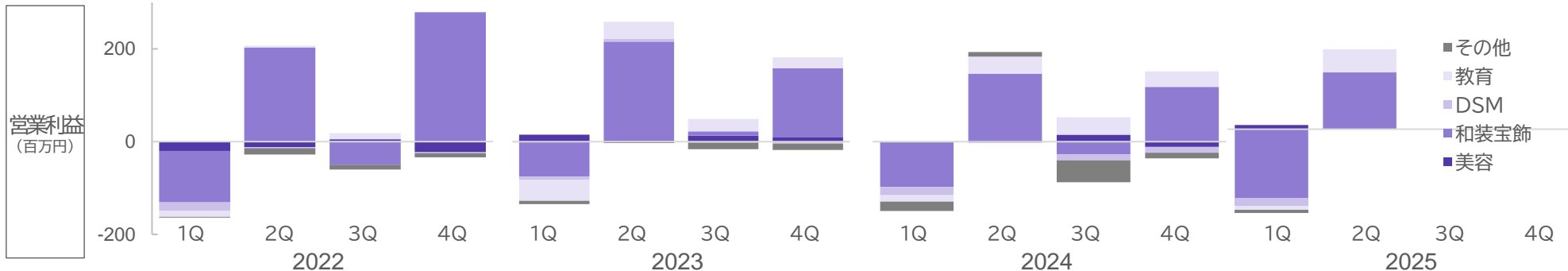
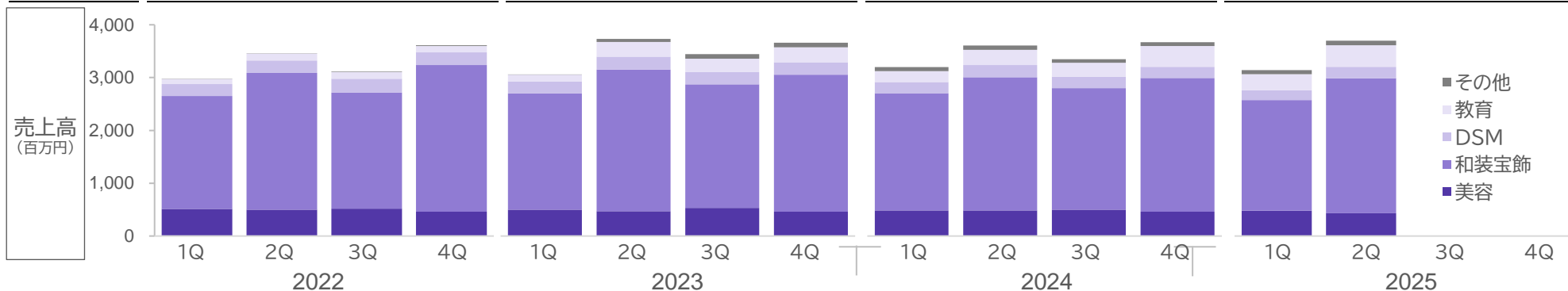
セグメント別 四半期業績推移



Yamano Holdings

売上高	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
美容	511	499	517	462	497	471	531	460	484	486	499	460	481	434		
和装宝飾	2,142	2,589	2,199	2,774	2,203	2,679	2,341	2,596	2,222	2,521	2,302	2,533	2,092	2,553		
DSM	225	238	261	242	227	246	236	236	208	231	215	213	187	216		
教育	94	128	131	120	129	277	252	282	206	286	266	390	305	408		
その他	2	3	11	16	2	60	86	84	81	83	67	74	76	87		

営業利益	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
美容	△20	△12	5	△23	15	1	13	△9	△1	3	15	△11	10	1		
和装宝飾	△111	203	△50	279	△75	214	9	149	△96	143	△27	118	△163	133		
DSM	△18	△2	1	△2	△7	6	△2	△4	△18	△3	△13	△13	△18	0		
教育	△13	4	12	1	△45	37	27	23	△14	37	37	33	△10	55		
その他	△2	△14	△10	△9	△7	△3	△14	△14	△20	△19	△16	△12	△7	0		



連結貸借対照表/キャッシュフロー計算書推移



Yamano Holdings

(単位:百万円)

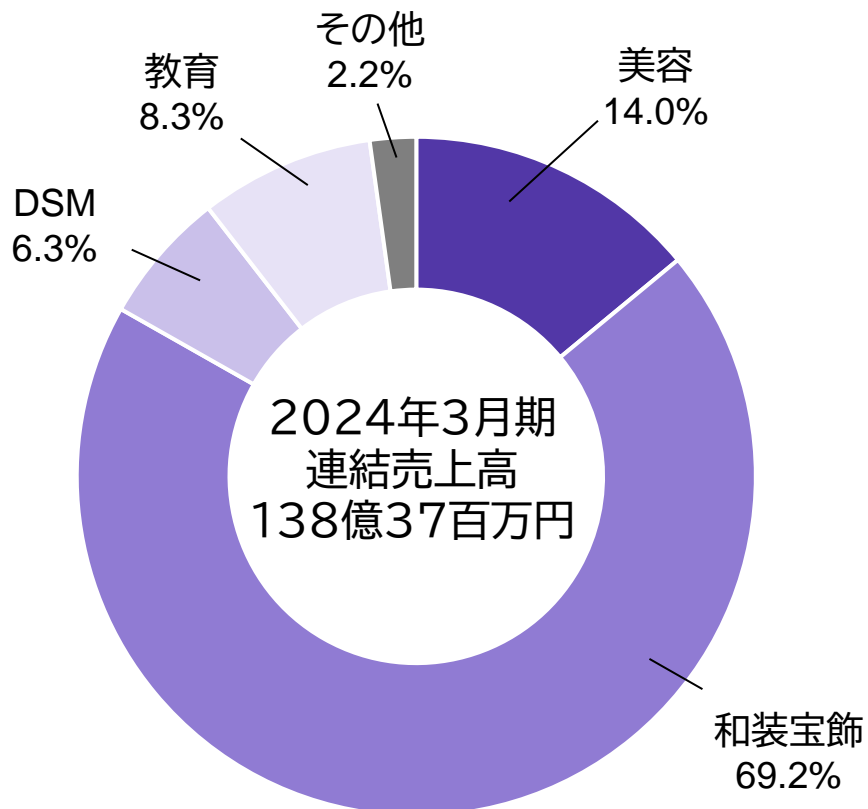
B/S	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
流動資産合計	8,615	8,226	8,836	7,831	7,740	7,624	7,900	7,477	7,482	7,699	7,153	6,865	6,790	6,135		
現金及び預金	4,624	4,197	4,520	3,777	3,373	3,499	3,581	3,319	3,249	3,525	2,898	2,732	2,585	2,384		
売掛金	2,198	2,299	2,492	2,421	2,550	2,486	2,621	2,561	2,495	2,533	2,627	2,551	2,407	2,109		
固定資産合計	1,559	1,545	1,495	1,465	1,864	1,853	1,855	1,880	1,901	1,865	2,001	1,781	1,830	1,767		
有形固定資産合計	433	435	429	372	389	382	375	339	337	323	341	317	316	319		
無形固定資産合計	19	17	16	23	388	377	360	344	328	339	426	363	369	353		
のれん	3	2	2	9	368	354	339	325	311	318	395	338	322	306		
投資その他の資産の合計	1,107	1,091	1,050	1,069	1,086	1,093	1,119	1,196	1,234	1,201	1,233	1,100	1,144	1,095		
資産合計	10,174	9,772	10,332	9,297	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903		
流動負債合計	7,202	6,638	7,253	6,168	6,282	5,965	6,345	5,901	6,248	6,449	5,977	5,560	5,761	5,043		
仕入債務	1,568	1,495	1,870	1,593	1,557	1,633	1,838	1,475	1,652	1,827	1,637	1,684	1,789	1,491		
短期借入金(1年以内含)	2,772	2,614	2,659	2,285	2,153	2,151	2,108	2,134	2,333	2,492	2,089	1,753	1,674	1,547		
固定負債合計	2,065	2,072	2,085	1,962	2,356	2,310	2,202	2,124	1,984	1,852	1,944	1,863	1,800	1,707		
長期借入金	1,603	1,622	1,638	1,548	1,924	1,879	1,756	1,707	1,584	1,465	1,535	1,462	1,379	1,300		
負債合計	9,267	8,710	9,339	8,131	8,639	8,275	8,547	8,025	8,232	8,301	7,922	7,423	7,562	6,751		
純資産合計	906	1,061	992	1,165	965	1,201	1,208	1,331	1,151	1,262	1,232	1,223	1,058	1,152		
株主資本	939	1,089	1,038	1,221	1,023	1,240	1,242	1,359	1,182	1,297	1,273	1,278	1,107	1,214		
評価・換算差額等	△32	△28	△45	△55	△57	△38	△33	△28	△31	△34	△41	△54	△48	△62		
負債及び純資産合計	10,174	9,772	10,332	9,297	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903		

(単位:百万円)

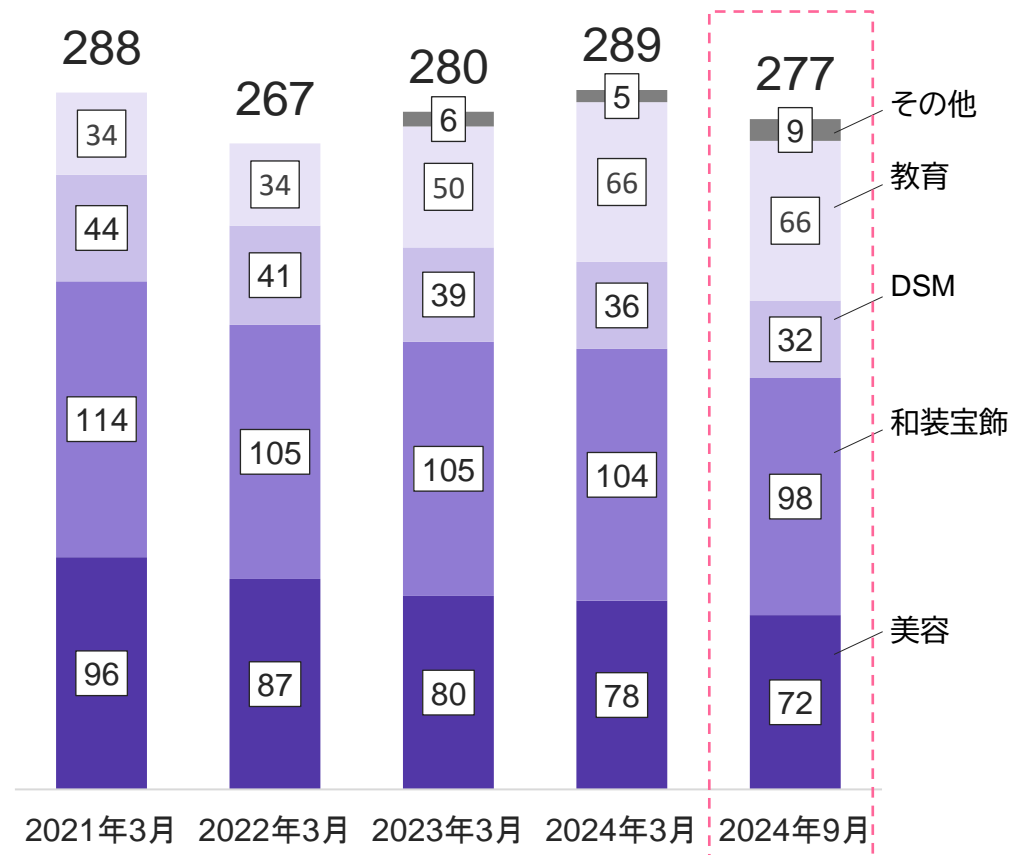
C/F	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
営業活動によるC/F	△1,241	△1,264	△120	△108	199	209	129	
投資活動によるC/F	△43	△19	△211	△219	△48	9	△98	
財務活動によるC/F	8	△412	54	△129	54	△806	△378	
フリーC/F	△1,284	△1,283	△331	△328	151	219	31	
C/F増減額	△1,276	△1,696	△277	△457	205	△587	△347	
C/F期末残高	3,709	3,288	3,010	2,830	3,036	2,243	1,896	

セグメント別売上構成比・店舗推移

連結売上高構成比率



セグメント別店舗・教室数推移



■美容事業

「美容室・ネイルサロンの運営」

運営:株式会社ヤマノプラス

※2022年10月に当社の美容部門と子会社2社の統合により設立

●美容室(68店舗)

- 首都圏、関西圏を中心に全国に美容室を展開
- 地域に密着した人に優しい『エイジングサロン』
- お子様・両親と一緒に家族でご利用頂ける『ファミリーサロン』
- 天然素材を使ったオーガニックヘッドスパ(山野式ヘッドスパ)
- 和装部門と連携した安心の着付けサービス

●ネイルサロン(4店舗)

- 手足のお手入れ専門のパイオニアが創業、約30年の歴史があるネイルサロンを都内好立地に展開
- ネイルサロン業界の先駆けとしてブランドを構築



ブランド名

My jStyle
by yamano

PLAZA
HAIR
by yamano


La Bonheur

NAIL CARE SALON
miura

セグメント別の事業概要

■和装宝飾事業

「和装品・宝飾品・毛皮等の販売」

運営：当社の和装宝飾・きもの部門、株式会社すずのき

- 呉服和装品専門店(88店舗)、宝飾専門店(6店舗)、毛皮レザー専門店(4店舗)
- 全国に呉服和装品専門店を展開、和装品等を販売
- きものを着て楽しむ「きもの会」を各店舗等で開催
- 「前楽結び着方教室」を各店舗で展開
- きものクリニックメンテナンスサービス(お手入れ)を提供
- 関東を中心に宝飾品専門店チェーンを展開
- レザー&ファー専門店等を展開



ブランド名



■DSM事業

「家電、洋装品、宝飾品、健康関連商品等の催事販売及び訪問販売」

運営：当社の訪問販売・展示販売部門

- 展示販売会や訪問販売によるダイレクトセールスを全国32拠点で展開
- 全国の販売員は、日々お客様のもとを訪ね、新商品や話題商品等を紹介
- 取扱商品は洋装品、宝飾品、健康商材、ミシン、各種家電など幅広いラインナップ
- アパレル、毛皮やレザーコート、バック、ウィッグなど多様な商品を取り揃えた「トータルファッションフェア」やジュエリーフェア等のテーマ絞った催事を随時開催

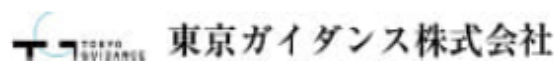
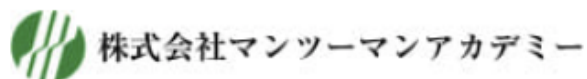


■教育事業

「学習塾の運営」

運営部門：株式会社マンツーマンアカデミー
東京ガイダンス株式会社
株式会社灯学舎

- やる気スイッチグループ「スクールIE」のFC加盟店事業を主力事業とするメガフランチャイジー個別指導教室を首都圏を中心に66教室で展開
- ・ 目標に向かって1人ずつ学習カリキュラムを作成
- ・ 万全のバックアップ体制と家庭へのフィードバックでサポート
- ・ 志望校のレベルに合わせて必要な学習を重点的にできる体制
- ・ 性格と学力を考慮、無理・無駄なく楽しく続けられる
- ・ 何年生からでも実力に合わせて合格への道筋を立てられる仕組み



■その他の事業

「リユース事業、前払式特定取引業、着物着付に関する普及、検定等」

株式会社OLD FLIP(古着の買い取りおよび販売事業)

株式会社ヤマノセイビング(前払い式特定取引業)

社団法人日本技術技能教育協会(着物着付け教室の運営)

● リユース事業

- 気軽に立ち寄れる古着店舗を関東中心に店舗展開
- ファッション雑貨が店頭を彩る新しいスタイルのUSED&セレクトショップ
- 店舗やグループ会社の店頭等で古着回収BOXを設置
- 回収品は「京都紋付」職人による黒染めやリメイク等でアップサイクル実現
- 店舗販売のほか、ネット販売、卸販売を展開



ブランド名

ゴー!ゴー!古着

zivun

recollect

リコレクト

KUROZOME REWEAR
FROM KYOTO

株式会社京都紋付
×
ゴー!ゴー!古着

■株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社に対するご理解を一層深めていただき、中長期的な株式保有の促進や株主数の増加等を目的として、株主優待制度を導入

- 毎年3月31日時点において1,000株以上所有の株主様を対象に、当社グループ各店舗でご利用いただける株主様ご優待券を年1回贈呈
- 株主優待券は、各店舗での利用及び当社指定の美容商品でも利用可

所有株式数	ご優待券の内容
1,000株以上	2,000円券(1,000円券×2枚)
3,000株以上	5,000円券(1,000円券×5枚)
5,000株以上	10,000円券(1,000円券×10枚)

- 2,000円、5,000円、10,000円コースの美容商品をご用意し、ご希望の商品をお選びいただけます。



※当社の単元株式数は100株

■ 2024年7月30日にコーポレートサイトを全面リニューアルいたしました。

<リニューアルポイント>

- 経営理念、事業内容等の企業情報の充実
- 多様な人財を迎えるための採用情報の充実
- サステナビリティへの取り組みの共有
- ビジュアルの強化
- ユーザービリティの向上



※トップページ(「豊かさと彩り」)をテーマにしたWebデザインを採用)

当社ホームページ
はこちら ⇒



※創始者 山野愛子キャラクターが求職者に向けて当社を紹介するページ

ディスクレーム

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com